

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日更新

事務事業名	白百合保育園建設工事船入遺跡調査事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会	課長名 北里利朗
	施策	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成		所属課	生涯学習課	担当者名 菅真一郎
	施策の柱	46	歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承		所属班	生涯学習班	(内線) 2550
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 11715	根拠法令	文化財保護法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 ~ 29 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
						成果優先度評価結果	—
						コスト削減優先度評価結果	—

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	埋蔵文化財包蔵地である船入遺跡内で、白百合保育園の新園舎建設が計画されたことにより、文化財保護法に基づき確認調査を行ったところ、発掘調査を行わなければならないなくなった。このため実施する埋蔵文化財発掘調査である。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査のため機材のリース、発掘調査員の雇用等の事前準備 発掘調査 出土した遺構の実測や遺物の整理・実測 調査報告書の刊行 関係各所への調査報告書の配布
【主な予算費目】	報酬、報償費、需用費(燃料費、印刷製本費)、役務費、委託料
【意見や要望】	保育園新園舎建設は、本市の待機児童解消のためでもあり、発掘調査が終了しないと建設工事に入れないことから、早期に調査に入り終了してほしいとの要望があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
埋蔵文化財(船入遺跡)の発掘調査	調査報告書の刊行と関係各所への発送
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 埋蔵文化財発掘調査を実施できた件数	28年度で発掘調査自体は終了したため
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
	→ ア: → イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
	→ ア: → イ:
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~29年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア										
	イ										
② 対象指標	ア										
	イ										
③ 成果指標	ア										
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円				4,213	736			
		(A) 事業費計	千円		0	0	4,213	736			
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人		0	1	0	1			
延べ業務時間	時間		0	0	0	0					
(B) 人件費計	千円		0	0	0	0					
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	0	4,213	736					

事務事業名	白百合保育園建設工事船入遺跡調査事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 報告書刊行を持って発掘調査は全て終了するため
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 次年度は発掘調査はなく報告書の刊行のみであるため
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 埋蔵文化財発掘サポート業者に調査を委託することができる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 埋蔵文化財発掘サポート業者に調査を委託することができる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 発掘費用は、開発行為主体者の負担となるため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 発掘調査は、専門的な事業であるため、住民や地域・団体に移行することはできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						